ブレード サーバの取り付け

この章の内容は、次のとおりです。

- ブレード サーバの取り付け，1 ページ
- サーバ コンフィギュレーション，3 ページ
- ブレード サーバの電源オフ，3 ページ
- ブレード サーバの取り外し，4 ページ
- サーバのトラブルシューティング，4 ページ

ブレード サーバの取り付け

シャーシにフル幅のサーバとハーフ幅のサーバの両方が収容されている場合、フル幅のブレード サーバは、シャーシの上側スロットで稼働するように設計されています。 4 台のフル幅のサーバを備えたシャーシが、完全にサポートされています。

手順

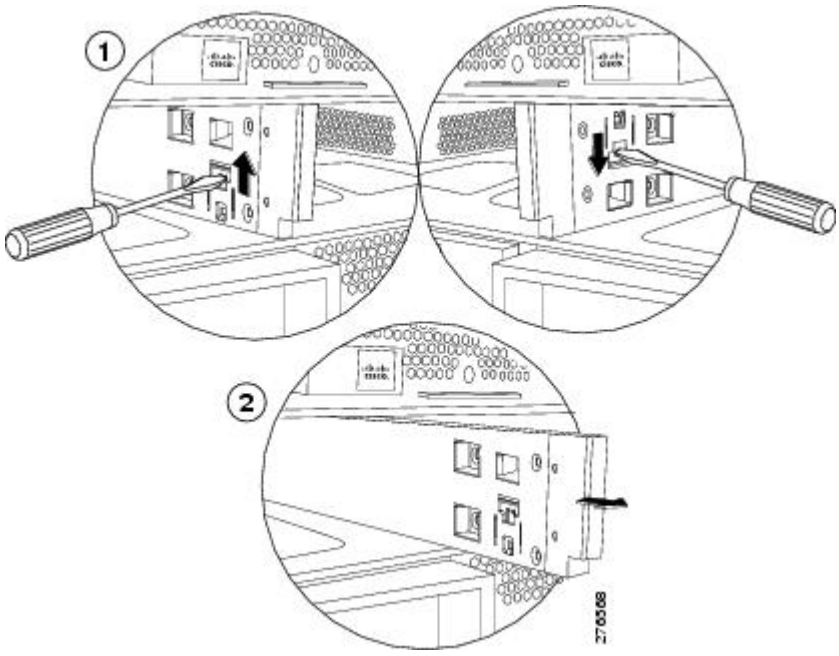
ステップ 1 必要に応じて、スロット ディバイダをシャーシから取り外します。

a) 次の図の番号 1 に示すように左側の留め金の引き上げと右側の留め金の引き下げを同時に行います。

ブレード サーバの取り付け

b) 次の図の番号2に示すようにスロットディバイダをシャーシから引き抜きます。スロットディバイダは、後で必要になったときのために取っておきます。

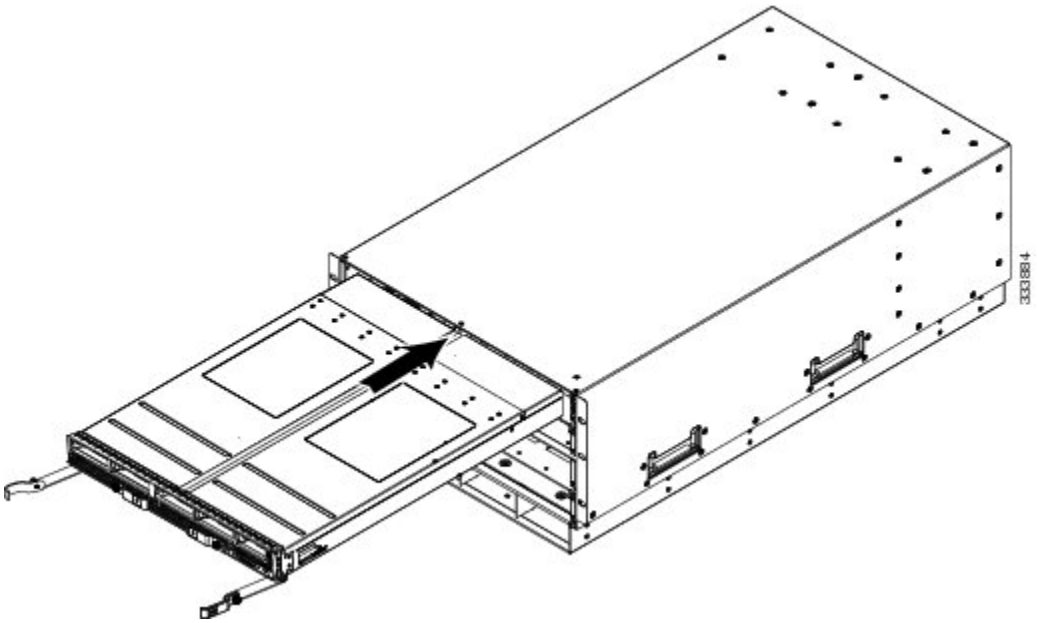
図 *1*：スロット ディバイダの取り外し



ヒント スロット ディバイダを取り付け直すには、スロットの上面と底面にあるくぼみに合わせてスロットディバイダを挿入し、カチッという音がするまで奥に押し込みます。

ステップ 2 ブレード サーバの前の方を持ち、もう一方の手で下からブレードを支えます。

図 *2*：シャーシ内でのブレード サーバの位置



ステップ 3 ブレード サーバの前面にあるイジェクト レバーを開きます。

ステップ 4 ブレード スロット開口部にブレードを差し込んでゆっくりと奥まで押し込みます。

ステップ 5 イジェクト レバーを押してシャーシの端にラッチがかかるようにし、ブレードサーバを完全に押し込みます。

ステップ 6 ブレードの前面にある非脱落型ネジを 0.339 N-m（3 インチポンド）以下のトルクで締めます。 指で直接締めれば、非脱落型ネジが外れたり、損傷したりしないようになります。

サーバ コンフィギュレーション

Cisco UCS ブレード サーバの設定と管理は、Cisco UCS Manager を使用して行う必要があります。詳細については、使用しているバージョンの Cisco UCS Manager の『*Configuration Guide*』 設定ガイドは、次の URL で入手できます。http://www.cisco.com/en/US/products/ps10281/products_installation_and_configuration_guides_list.html

ブレード サーバの電源オフ

Cisco UCS Manager を使用してサーバをシャットダウンします。 この操作の詳しい実行方法については、お使いのバージョンの Cisco UCS Manager のコンフィギュレーション ガイドを参照して

ください。 コンフィギュレーション ガイドは次の URL で入手できます。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps10281/products_installation_and_ configuration_guides_list.html

ブレード サーバの取り外し

ブレード サーバを物理的に取り外す前に、Cisco UCS Manager を使用してサーバを停止する必要があります。

手順

ステップ 1 Cisco UCS Manager または電源ボタンを使用して、ブレード サーバの電源を切ります。

ステップ 2 ブレードの前面にある非脱落型ネジを完全に緩めます。

ステップ 3 ブレードのイジェクト レバーを引いてブレードサーバの固定を解除し、シャーシからブレードを取り外します。

ステップ 4 ブレードをシャーシから途中まで引き出し、もう一方の手で下からブレードの重量を支えます。

ステップ 5 取り外したブレードをすぐにに取り付け直さない場合は、静電気防止用マットまたは静電気防止用フォームの上にブレードを置きます。

ステップ 6 ブレード サーバ スロットが空のままである場合、スロット ディバイダを取り付け直し、2 枚のブレード サーバ ブランク パネルを取り付けます。

サーバのトラブルシューティング

一般的なトラブルシューティングの情報については、『Cisco UCS Manager B-Series Troubleshooting Guide（Cisco UCS Manager B シリーズ トラブルシューティング ガイド）』を参照してください。